



インストール

- [仮想アプライアンスのインストール, 1 ページ](#)
- [サービスのアクティブ化, 1 ページ](#)
- [アプリケーションへのログイン, 2 ページ](#)

仮想アプライアンスのインストール

Prime Collaboration Provisioning 仮想マシンを展開し、インストールするには、『*Installation Guide for Cisco Business Edition 6000* (Cisco Business Edition 6000 のインストールガイド)』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/partner/products/ps11369/prod_installation_guides_list.html

Prime Collaboration Provisioning アプリケーションを完全にインストールするには約 30 分かかります。

サービスのアクティブ化

Cisco Unified Communications Manager ならびに IM サーバおよび Presence Service サーバと連携する Cisco Prime Collaboration Provisioning の場合は、Cisco AXL Web サービスを両方のサーバでアクティブ化する必要があります。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager でサービスを有効化するには、次のアクションを実行します。
- a) Cisco Unified Communications Manager の Web インターフェイスにログオンします。
 - b) [Navigation] > [Cisco Unified Serviceability] に移動し、[Go] をクリックします。
 - c) [Tools] > [Service Activation] をクリックします。
 - d) サイトの要件に応じて、次のサービスを有効にします。

- Cisco CallManager
- Cisco CTIManager
- Cisco エクステンション モビリティ
- Cisco TFTP
- Cisco AXL Web サービス
- Cisco DirSync

e) [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 2 次のアクションを実行し、IM サーバおよびプレゼンス サービスを有効にします。

- a) IM およびプレゼンスの Web インターフェイスにログオンします。
- b) 画面右上で [Navigation] > [Cisco Unified IM and Presence Serviceability] に移動し、[Go] をクリックします。
- c) [Tools] > [Service Activation] を選択します。
- d) サイトの要件に応じて、次のサービスを有効にします。

- Cisco SIP Proxy
- Cisco Presence Engine
- Cisco Sync Agent
- Cisco AXL Web サービス
- Cisco XCP Connection Manager
- Cisco XCP Directory Service
- Cisco XCP Authentication Service

e) [保存 (Save)] をクリックします。

アプリケーションへのログイン

手順

ステップ 1 PC でブラウザを開きます。

ステップ 2 `http://<Prime Collaboration IP Address>` を入力します。
Prime Collaboration のログイン ページが表示されます。

ステップ 3 初期設定時に指定したものと同一クレデンシャルを使用し、`globaladmin` としてログインします。
